

②企業人材の育成支援

- ・ 産業界の最新情報や、新規参入や認証取得などに必要な知識習得など企業経営人材の知見向上のためのセミナーを実施する。

③販路開拓支援

- ・ 国内外の展示会・商談会への出展・商談支援を行う。

《1》「機械要素技術展」出展支援（他分野展開）

《2》「エアロマート・トゥールーズ（仏）」出展支援（航空分野）

（3）県負担・補助率の考え方

岐阜県産業経済振興センターが取り組む県内航空分野支援のための人件費や支援事業にかかる経費を助成する。

（4）類似事業の有無

なし

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	263	国内業務旅費
消耗品費	19	事務用消耗品
役務費	18	通信運搬費
補助金	17,100	・ 専門家、事務員の人件費 ・ 事業費（セミナー開催、販路開拓支援など）
合計	17,400	

決定額の考え方

4 参考事項

（1）各種計画での位置づけ

- ・ 「清流の国ぎふ」創生総合戦略
3 地域にあふれる魅力と活力づくり
(2)次世代を見据えた産業の振興（航空宇宙分野）
- ・ 岐阜県成長・雇用戦略
[4] 航空宇宙産業の製造品出荷額倍増プロジェクト

（2）事業主体及びその妥当性

有識者を雇用し、様々な県内中小企業支援事業に関するノウハウ・実績を持つ（公財）岐阜県産業経済振興センターが主体となって実施する。

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	航空宇宙産業支援事業費補助金
補助事業者（団体）	岐阜県産業経済振興センター （理由）航空宇宙産業支援コーディネータを配置し、県内関連産業への支援体制が整っている。
補助事業の概要	（目的）航空宇宙分野におけるワンストップサービスでの支援体制の構築。 （内容）コーディネータによる県内企業の新規参入やマッチング支援等の新たな販路開拓など、切れ目ない総合的な支援を行う。
補助率・補助単価等	定額・定率・その他 （例：人件費相当額） （内容）人件費、事業費相当額 （理由）県施策として実施をすべき事業について、専門性を有するコーディネータを活用することで助言等の総合的な支援が実施できるため。
補助効果	県内航空宇宙産業の発展に寄与し、競争力を強化、経済変動に強いバランスの取れた産業構造を構築する。
終期の設定	終期 令和7年度 （理由）業界の特色として、受注獲得までの道のりが長い事から継続的な支援を進めていく。

(事業目標)

・終期までに何をどのような状態にしたいのか

県内航空宇宙産業の技術力やニーズを把握し、各種支援策を的確に有効に行う。これにより、業界の国際競争力を強化するとともに裾野の拡大を図る。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (H29)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R7)	
					達成率	
① 調査企業数	61	60	120	120	120社	50.0%
② 企業人材育成数 (受講者数)	282	24	200	200	200人	12.0%

	H30年度	R元年度	R2年度
補助金交付実績	14,458千円	14,687千円	15,285千円

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナ拡大の混乱期にある中において一定数の企業訪問をすることができた。 ・企業人材育成は、予定数のセミナーを開催することができなかったが、オンラインでのセミナー開催を実施し、一定数の受講者があった。
	指標① 目標：120社 実績：60社 達成率：50% 指標② 目標：200人 実績：24人 達成率：12%
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 3	県内集積する航空宇宙産業は次代の基幹産業としてのさらなる成長が期待されており、地域の産業基盤の維持と強化にむけた支援を県が継続的に行うことは妥当であり、かつその必要性は高い。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり (単年度目標 100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり (単年度目標 100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない (単年度目標 50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない (単年度目標 50%未満) 	
(評価) 2	コーディネータの知識や経験等を活かした県内企業の様々な課題への個別対応や、セミナーや販路開拓等支援等など、総合的な支援を実施しており、事業の有効性は高い。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価) 2	産業支援全般における知見・実績のある (公財) 岐阜県産業経済振興センターにより本事業を実施することで、効果的かつ効率的に企業支援を実施している。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 業界ニーズの把握と、各種支援や人材育成支援への反映。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 業界動向や企業ニーズに対し臨機応変に内容を見直しながら取り組む。
